

平成22年11月12日

中央教育審議会

キャリア教育・職業教育特別部会長

田村哲夫様

全国連合小学校長会長 向山行雄

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」に関する意見について、貴特別部会におきましては、今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について、現在、精力的に審議を進められていることに対し、深く敬意を表します。

全国連合小学校長会としても、小学校段階におけるキャリア教育の重要性を踏まえ、小学校におけるキャリア教育を円滑に推進する観点から、下記のように意見を表明いたします。

記

- 1 小学校段階におけるキャリア教育推進の視点や考え方などについては、概ね妥当である。
 - 答申素案に示されたキャリア教育の重要性や推進上の課題、キャリア教育の充実方策、各学校段階のキャリア教育推進のポイントなどは、小学校段階におけるキャリア教育を推進する上で重要な視点や考え方、方向性などを明確に示した概ね妥当なものとなっており、評価できる。
- 2 小学校段階におけるキャリア教育の重要性や考え方、方向性などについての理解を深め、具体的な取組がさらに広がるよう、以下の点についてご配慮願いたい。
 - 「Ⅲ発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実方策」の「3. 各学校段階の推進のポイント」の（1）の「②義務教育」の中で、小学校段階におけるキャリア教育推進上のポイントが示されている。

そこで、小学校においては、今回改訂された学習指導要領の中で、道徳及び特別活動の目標に「自己の生き方について考えを深め、」という文言が新たに加えられたことから、このことについても付け加えていただきたい。
 - 上記に加え、小学校においても、中学校に関する記述にあるように、キャリア教育の視点からそれぞれの活動を体系的に位置づけることの必要性について、書き加えていただきたい。
- 3 小学校段階におけるキャリア教育の推進に当たり、戸惑いや混乱が生じないようご配慮願いたい。

○ 平成22年1月に文部科学省が作成し、全国の小学校に配布された「小学校キャリア教育の手引き」においては、キャリア教育で求められる4つの能力として、「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」が例示されている。これは、国立教育政策研究所が研究の成果として例示したものとはいえ、小学校においてはキャリア教育を推進する上で大きなよりどころとなっている現状がある。

しかしながら、今回の答申素案においては、「基礎的・汎用的能力」の内容として、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の新たな4つの能力が示された。これらは、これまで例示されてきたキャリア教育で求められる4つの能力と大きく異なり、その違いや共通性などを含めた説明も十分であるとは言いがたい。さらに、このままでは、今後、小学校においてキャリア教育を推進する際に、戸惑いや混乱を生ずる可能性が高いと言わざるを得ない。

そこで、この点について、新たな記述を加えることや、新たなリーフレット等を作成・配布することなども含め、ぜひ検討していただきたい。